

会議の名称	第6回タウンミーティング
開催日時	平成26年5月31日（土）午後6時～午後7時
開催場所	草平地域防災コミュニティセンター 講堂
出席者	市長、副市長、総務部長、企画部長 参加者 34名
テーマ	愛西市の財政、将来展望を含めた市政運営について
質疑応答	
市民A	個人的な要望はご遠慮くださいと書いてありますが、個人的な要望は言ってはだめなんですか。いろいろ要望はあるんだけど。個人的意見になるかもわからないです。発言すると。そういうことはだめなんですか。
市長	今のご要望の件でございますが、内容にもよりますが、今回行わせていただいたタウンミーティングは今回で6会場目になりますが、今回は個人的なご要望についてはご遠慮くださいということでやってきておりますので、ご理解いただきたいと思います。
市民A	私の発言が要望になるか私自身がわからないのです。ただ、ちょっと言わせてもらうとこないだ選挙があったでしょ。投票率はどのくらいあったのか、それと今までというか、この頃ちょっと宣伝カーが回らないんですよ。これは私だけじゃない、皆さんが言っておられるんですが、選挙の日に選挙に行きましょうという宣伝カーが1回もまわってこない。そういうことがあって、選挙にいけないという方もみえる。期日前投票が遠くなったから行かないという方もいらっしゃいますから、その辺の改善はしていただきたいと思います。こういうことは自分の要望かと思うものですからちょっと聞いてみたわけです。お願いします。
総務部長	3点ほどご意見をいただきました。選挙の投票率はその都度、選挙の結果ということで広報等でですね、あるいはホームページの方でそれぞれ結果については皆様方に周知をさせていただいておると理解をしておりますし、次の宣伝カーというのは、市の選挙管理委員会の広報の車ということでよろしいでしょうか。決して1回もそういった広報をしていないということはありません。今回市会議員の選挙がありました。当然、私どもは各投票所激励と申しますか、投票の状況を選挙管理委員さんとつぶさに回っているというのが現状です。その際にですね、今日は〇〇の投票日ですよ。投票にお出かけくださいという広報をやっておりますし、それから宣伝カーだけでなく、いついつ選挙が執行されますよと事前に広報等で市

	<p>民の皆様方に周知をさせていただいております。それからもう一点、期日前投票所の関係でございますが、午前中にもご質問いただきましたが、今日こういった形で期日前投票所1ヶ所、市も十分承知をしております。合併後は4ヶ所で期日前投票事務を行っていたわけですが、いろんなご意見がありました。今日に至るまで。これは市が勝手に1ヶ所にする決めたわけではありません。市民の皆様方からこの期日前投票についてご意見をいただきました。4ヶ所は無駄じゃないか、それだけ投票に従事する職員、立会人、もう少し集約できないのかというご意見があったのも事実でございます。そんな状況のなかで選挙管理委員会できろいろ議論をしていただきまして、おっしゃったように多少ご不便な方もあるかもわかりませんが、愛西市としての期日前投票の投票事務としては1ヶ所と選挙管理委員会の決定ですので、ご理解をいただきたいと思ます。以上です。</p>
<p>市民B</p>	<p>ご苦労様です。今日は最悪の体調で、よっぽどどうしようかと思ったのですが、こういう機会ですので、ぜひとも行ってお聞きしながら質問もしたいと思ってきました。このようなタウンミーティングまたこれからも続けてほしいというのが1点。それからですね、体調が悪いということで八開診療所に行っているのですが、八開診療所の看護師さんも先生もユーモアがあって、とてもよくしてくれるんです。値段も安いということもあります。一時、縮小するような話もありましたけれども、地域の皆さんの医療の拠点としてぜひ続けて欲しいというのが1点。</p> <p>それから最後に、今、少子高齢化と言われるのですが、高齢化を支えるのは子どもなんですよね。皆さんご存知ですけれども、それでぜひとも子どもを増やすということでは、子どもの医療費を今、小学校卒業までですけれども、ぜひ、中学3年まで無料にしてほしいと思ます。子どもの医療費の無料化を拡大して欲しいということは、ずいぶんお母さんからの要望が強かったです。高齢者はどうするんだというような話もありますけれども、土台をつくっていくのは子ども達が支えてくれるわけですから、不動産業者も広告に書き込むくらいですね、子どもの医療費は中学校まで無料ですよと書き込むとかなり要望があるようですので、そのへんは考えてほしいと思ます。それからまた1点ですね、思春期になる子ども達、多感症とかいろいろ難しい病気があるんですけれども、そういう病気が発生しても中学生で医療費が無料になっていないからなかなか</p>

	<p>思い切っていけないとお母さんからの悩みもお聞きしましたので、ぜひとも無料化を進めていただきたいと思います。無料化にはお金もかかるわけですが、愛西市を支えることですので、ぜひ進めていただきたいと思います。再度要望しておきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。以上です。</p>
副市長	<p>ありがとうございます。タウンミーティングにつきましては今回の結果を踏まえて、先ほども申し上げさせていただきましたが、方法等検討させていただきたいと思っておりますし、内容についても今後検討してより多くの方にできるなら来ていただきたいと思いますと思っております。</p> <p>また、八開診療所をお使いいただきましてありがとうございます。八開診療所につきましても現在一人のドクターの体制ということでございますし、看護師さんはじめスタッフが特別技術が必要な方ばかりですので、そういうことも踏まえながら今後検討していかねばならないと思っております。先ほど、料金が安いというお言葉がありましたが、他の医療機関と特に変わらず、八開診療所が特別何かをしているというわけではございませんので、よろしくお願いいたします。また、子ども医療費の拡大につきましては今後の検討課題だと思っております。</p>
市民A	<p>先ほどのお答えの中で、ネット等を使って知らせているという話がありましたよね。年寄でインターネットをやっているのは何人くらいおられますか。インターネットでは、私ら、私はこの頃こういう状況になってやり始めたんですけど、私の周りではインターネットをやっている人はほとんどいません。だから、ネットなんかでお知らせするよりはちゃんとした広報で知らせてほしいと思うんですよね。それと、ちょっと市長に聞きたいんですけど、他市よりここは優れているよというのは愛西市は何があるんですか。そこをちょっと教えてほしいんですけど。自慢できる場所ですよ。お願いします。</p>
市長	<p>まず、最初に私から他市との比較の件についてでございますが、先ほども申し上げましたが、児童館設置状況につきましては他市より優れていると愛西市の一つの例でございますけれども、これにつきましては、愛西市におきましては全小学校区に設置をさせていただいております。また、保育料につきましてもかなり低額な現在保育料になっているということです。詳しい数字についてはお答えできませんが、保育料についてはかなり安いと考えております。その</p>

	他いろいろあると思いますが、そんなところであると思います。
総務部長	私の言い方がまずかったのかなと思いますが、おっしゃるようにホームページでも投票率等をお知らせをしておりますのも手法の一つです。皆様方にお知らせする主たる方法は広報です。広報でもお知らせしております。ご理解をいただければと思います。
市民A	先ほど人口が減っていくというお話がありましたよね。そういう対策はどういうふうにとるのかということがひとつありますよね。愛西市は住んで子どもを産んで育てやすい市町村を目指すのか、それとも税金を高くして、税金や水の高い市町村を目指すのか、市長の意見を聞きたいんですけど。それと観光にも力を入れていただくというのではないのでしょうか。愛西市は今、道の駅に私の知り合いが三重県の鈴鹿から道の駅だけに来るんですよ。そういうのがあります。わざわざ三重県の鈴鹿から車に3、4人乗ってくるという話を聞きました。確かに近辺にあっても愛西市がいいですよと宣伝しています。花もきれいだし。新しいし安いし。ただ、条件的にはちょっと小さいよねという意見もあります。もう少しあそこらへんも大きくして、もうちょっと観光に力を入れたらどうかなと思います。そこらへんを市長がどのように考えるかということを知りたいです。
市長	まず、人口減少に対する対策ということでございます。この人口減少につきましては、たいへん難しい。何をやったら人口が増えるのかとかなり難しい問題であると思っております。人口が増えるような施策があるならばたぶん国全体も人口が増えていくんだろと考えております。愛西市としても現状は減少しているという状況でございますし、他の市におきましても当然日本の人口が減ることであれば減ってくるであろうと思っております。今後につきましては現状を踏まえながらどのような施策を行って減少しない、人口が増える施策があればやっていかなければならないと思っております。今までの経緯などを十分に検討し、現在行っている様々な事業につきましても、しっかりと時代に適したものであるかということも検証していかなければならないと考えております。また、観光につきましては、現在、観光協会を中心にやっていただいております。愛西市としましても観光協会をサポートさせていただいております。行政だけでは難しいということはおわかってみえると思いますが、やはり観光協会を中心にさまざまな観光資源の発掘、PRをし

	<p>ていただいていると思っております。皆様方におかれましても PR する機会がありましたら、ぜひ PR していただきたいと思っております。私からは簡単ではございますが、以上です。</p>
市民C	<p>今朝の新聞で南海トラフで防波堤がみんな壊れる想定で、愛西市でも死者が1,000人と出ていたかと思いますが、先ほどの方もおっしゃったようになかなか広報とかインターネットでは危険度がわからないと思います。市長が先ほどおっしゃられましたが、逃げる勇気というのに対しても自分の地域がどれくらい危ないんだということがわかっていないと、なかなか逃げなきゃいけないという思考につながらないと思うのですが、以前ハザードマップとか作られていると思うんですけど、各個に配布するようなアナログ的に配布するようなことは考えてみえるのでしょうか。</p>
市長	<p>逃げる意識を高めるということは大変難しいことだと認識をしております。過去に言われたとおりハザードマップを配布しておりますが、それを配布したからといって意識が高まったわけではないと思っております。自主防災組織を立ち上げていただきましたし、市といたしましても防災訓練等をやっております。地域で誘い合っ て声をかけながらそういうことに参加していただいて意識を高めるのも一つの方法だと思います。今回の南海トラフの被害想定もかなり大きなものができました。このことを踏まえて意識的にもっと高まってくればいいなと思います。今回の想定につきましては当然市だけでは対応できないような想定になっております。河川におきましては国・県の管理部分が多くありますので、今までもそうですけれども、国・県に対して市といたしましても堤防強化を早急にして いただきたいと要望をさせていただいております。皆様のご意見、ご提案などを聞きながら有効的な方法を模索しながら、いい方法があれば個別に配布することも視野に入れて検討していきたい と思います。</p>
総務部長	<p>今朝の各朝刊の一面にですね、南海トラフの想定が載っております。先ほどお話ができましたように愛西市のハザードマップを合併後すぐに作成し、皆様方に配布をさせていただきました。今回の想定というのは、地盤が軟弱がゆえに堤防が決壊するという想定の中での今回の県の調査結果であるととられております。市長が申しましたように、今後、皆様方にこういった手法でこういったものが情報として提供できるのか、国や県の情報をきちっととらえた中でハザードマップだけでなく、防災マップ等もそうですけれども見直す時</p>

	<p>期にきているのかなと思っております。</p>
市民A	<p>ついでに防災のことについて一つ聞きたいのですが、小学校中学校で防災教育はどれくらい行われているのかということと、もう1点今、佐織町の旧庁舎、いろいろなところにもありますが、今いろいろ話題になっています。取り壊す、取り壊さないという問題がでていますが、私個人としてはああいうところに1ヶ所防災センター、防災の展示場を作って皆さんがうかがえるような資料館を作っちゃどうかと思っております。今起きるか、何年先に起きるかはっきりわからない状態ですよね。だから、今から子ども達に防災意識を高めていくような学習をやると結果的に大きくなって防災に強い街ができあがるのではないかと気がいたしますけど。</p>
総務部長	<p>今、おっしゃられたご意見はもともとだと思います。防災の教育の関係につきましては、もうすでに愛西市の小中学校は取り組んでいると私どもは理解をしております。それぞれ個々の取組は、それぞれ特色があって若干違いはあるにしても、こと防災の教育に関しても普通の防災の意識は同じような目線の中で教育、実習がされていると私は理解をしております。市長からも先ほど26年度の取組ということで立田北部小学校で地元を巻き込んだ防災訓練を実施します。これは新しい試みでありますけれども、これが他の小学校区の方へ広がればという思いもありますし、今年度は立田地区で実施すると、その次は八開地区または佐織地区でと計画がされるというのではないかと考えております。それから旧庁舎の関係ですが、資料館にしたらどうだというご意見がありましたが、午前中にもお話がありましたが、私どもはあくまでも支所として庁舎を活用していくんだということで今後そういう方向性で進めてまいります。防災的な展示については、別途他の活用できる施設の中でそういったものも展示が可能であれば対応ができると考えておりますので、佐織庁舎については、資料館ですとか防災センターといった整備をする考えは持っておりません。あくまでも支所としての活用を考えております。</p>